

青海川通信

古木の桜の下、峠の茶屋が復活

北国街道や新旧国道8号線という、今昔の主要道路の街道沿いで営業中の「酒の新茶屋」さん。茶屋の名前が付いている様に、古くは北国街道を通る旅人に向けた商売をしていました。現在は酒屋として県内の限定酒などを主に扱っています。そして春の時期になると一際目を引くのは、店先にある巨大な桜の古木。樹齢約百年以上のこの桜ですが、時期がくると満開の花を咲き誇ります。新茶屋さんではこの桜と、日本海を楽しむ催しが毎年春に行われます。

当日、軒先や店内で複数のイベントや笠島の



「海辺のキッチン倶楽部もく」さんの手摘みの岩のりを使った「岩海苔雑煮」を始めとした出張店が連ねていました。さらには4月30日までの限定復活をした、峠の茶屋カフェ「BOR」では新茶屋さんともくさんの「共同手作りのドーナツやシフォンケーキ」、「酒の新茶屋ポアコーヒ」が販売されました。観桜会を訪れた方々は手作りスイーツや岩海苔雑煮ととしみ、現在の街道国道8号線を往く人々にも大注目のイベントとなりました。街道の要にある峠の茶屋の復活は近いかも。



結婚式の1ページ

「ビアンベール柏崎」さんがウエディングフォト撮影のため、恋人岬を訪れました。当日は天気が良かったのですが、あいにく強風。それでも流石はプロのモデルさん達、風にもマケズ素敵なお笑顔でした。素敵なおフォトアルバムは1ページをご作成頂きありがとうございます。恋人岬から誕生するカップルが、恋人岬でウエディングフォトを撮影する。そんな方たちがさらに増える事になりそうです。 ※恋人岬での撮影のお問い合わせはメールかインスタグラムのDMにてお待ちしております。



ボランティア多数参加 春の青海川の大イベント



日本海に一番近い駅として知られる「青海川駅」、そこには冬の間に荒波に運ばれた漂着物が大量に堆積してしまっています。そこで市などが毎年清掃活動を企画し、地域住民の方々や企業の方などが参

加します。今年は過去最高の参加者で、220人以上が漂着物の除去に汗を流しました。その中には我々シーポートスタッフの姿も見られました。総勢7名で参加したメンバーは、日頃の草刈や、枝落として鍛えた足腰が自慢のスタッフを筆頭に、巨大な流木の撤去や定置網など大物の漂着物に果敢に立ち向かいました。1時間を過ぎた頃、すっかりゴミの無くなった海岸から、集めたゴミをバケツリレー方式で回収して清掃完了です。その後は駅に入ってくる「酒」をコンセプトとした列車「越乃 Shu *Kura (シユクワ)」をお出迎え&お見送り。訪れた観光客は数刻前の大量の漂着物が見事に無くなっていく事に、知ってか知らずか、駅から海岸に向けて多くの記念撮影をされていました。



青海川のお天気を 知りたいときは

ご存知の方も多いでしょうが、「FMピッカラ」で毎週金曜日、8時50分に酒の新茶屋いっちーさんのお天気情報が流れています。新茶屋さんの位置からは、霊峰米山、日本海、佐渡ヶ島が全て望めるのでお天気情報を発信する場所としてうってつけですね。週末の天気や、波の高さや風の強さなど、実際に見ている現状を発信していただけるので、リアルな情報を受け取れますね。毎日同じような顔を見せているかのような青海川ですが、日々変化しています。そんな青海川を発信しているこのコーナー、是非受け取ってみてください。

初めてのシーポート

五月の中旬、「柏崎市立第三中学校」の三年と二学年の皆さんが、遠足のトイレの休憩でシーポートを訪れました。入館した生徒さん達は各々、3階と2階に別れましたがそれぞれの絶景スポットに大興奮。ロビーからの眺めや、2階レストラン外テラスの開放感にしばし疲れを忘れて楽しんでいました。初めて入館されたという生徒さんが多い中、「こんなに綺麗な所だとは思わなかった」という言葉も。今以上に、広く市民の皆さんにご利用頂ける様にしなければと感じる1日でした。



[休息を終え恋人岬へ向かう生徒さん達]

シーポート熱狂の夜再び



音楽を感じる夜が再びシーポートで開催されました。主催の「LUNAR MARE」さんを始め、5組のアーティストが出演。ゲストを含め総勢60名を越える過去最大の規模となりました。料理の提供は変わらず「アンジェロ」のオーナーが

自身も出演するバンドのベースと二刀流で提供。パーティの食を彩りました。今回は音響を一新し、大迫力のビックサウンドで観客を沸かせ、服の上に直接ペイントするライブパフォーマンスでは、主催者自ら参加、コスプレイヤーの「真子」さんと共に即興ダンスを披露しました。夜更けまで続いたパーティは大盛況に終わり、参加したアーティストさん達や、そのお仲間にも次の参加を希望される程の大成功を収めました。これからもシーポートの熱い夜は続きます。



訪れた想い出残すボード登場

「恋人岬」の突端に、今年の3月からメモリアルボードが設置されています。訪れた人たちの言葉を書き残すためにスタッフが手作りしました。設置されてから2ヶ月、ボードには多くの言葉が記されて、いっぱいになっていました。多くは、恋人と訪れた記念の言葉を残したりですが、中には「今回は一人であたけど、次回は好きな人二人で来るぞ！」というような希望と願いに満ちたメッセージもありました。ボードには恋人同士の記念のメッセージももちろんですが、ご家族や友達同士のメッセージも大歓迎です。恋人岬を訪れたら是非想い出を残して行って下さいね。



米山大橋建立記念碑に込められた想い

この季節、日没時間にはさらに朱に染まる「米山大橋」。袂には記念碑が建立されています。大橋の完成とともに建てられた記念碑ですが、年月を経て道中に草木が生茂っています。記念碑が埋もれる危機を感じ、青海川お助け隊が出動しました。雑木を刈り取り見違えるようになった道中。記念碑も露わに。記念碑には、「北に佐渡ヶ島、南に米山の景観を配した本橋は、交通輸送面に大きな役割を果たすとともに、観光名所として世人の注目を集めている」と当時の市長の言葉が彫られています。ご年配の方は米山大橋の無かった頃の旧道を覚えていらっしゃいますか。大橋が出来たあとの利便性はいかなるものだったでしょうか。この大橋の役割は市内外に多大な利益をもたらしています。すでに在る物としてそれを忘れ、先人達の思いの込められた石碑を埋もれさせていたのは如何なものでしょうか。



[石碑からも雑木が伸びている]



[蔦が蔓延り歩くのも一苦労な状態]



[道中は砂が堆積し草木が生え]



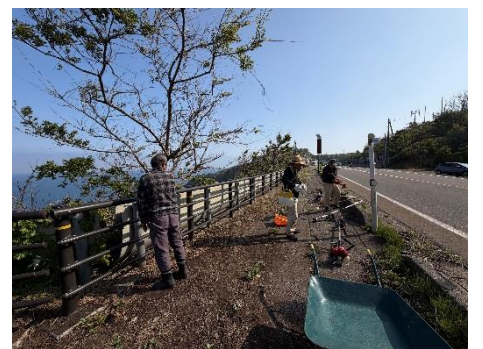
[柏崎市民は特別な思い出を持つ]



[蔦も全て取り除き石碑まで一直線]



[雑草を刈り取り歩道が見えるように]



<カンゾウ(恋人岬)>



<アザミ(恋人岬)>



<菜の花(恋人岬)>



<芍薬>

米山徒然
周辺の草花などなど

ザ・ホテルシーポート公式Instagram
みなさん、フォロー&いいね！ よろしくお願いします！

